

東京都現代美術館

MOT コレクション

竹林之七妍

小さな光

開館 30 周年記念プレ企画

イケムラレイコ マーク・マンダース

Rising Light/ Frozen Moment

2024 年 12 月 14 日(土) – 2025 年 3 月 30 日(日)

東京都現代美術館では、戦後美術を中心に、近代から現代にいたる約 5800 点の作品を収蔵しています。「MOT コレクション」展では、会期ごとに様々な切り口を設けて収蔵作品を展示し、現代美術の持つ多様な魅力の発信に努めています。

1 階では、「竹林之七妍」と題し、新収蔵作品を中心に 7 人の女性作家に焦点を当てます。「竹林之七妍」とは、当館所蔵の河野通勢の作品名に由来します。そこでは俗世を離れて竹林に集い清談を交わす古代中国の 7 人の賢者が 7 人の女性に変えて描かれています。時代や文化といった背景の異なる女性たちが花や鳥に囲まれた明るい光のなかで和やかに集うさまになり、本展示では、これまで当館で紹介する機会の少なかった女性作家に光を当てることにしました。生誕 100 年を迎えた間所（芥川）紗織と高木敏子に加え、漆原英子と小林ドンゲ、前本彰子は新収蔵作品を交えて展示します。朝倉摂と福島秀子は既収蔵作品をまとめたかたちでご覧いただきます。1 階ではさらに、「小さな光」と題した小企画として、オラファー・エリアソン、山本高之らの作品を紹介します。

3 階では、当館の開館 30 周年を記念し、イケムラレイコ、マーク・マンダースの特別展示を含む「開館 30 周年記念プレ企画 イケムラレイコ マーク・マンダース Rising Light / Frozen Moment」を開催します。わき立つ色彩とイメージによって、この世に存在するものの生成と変化の諸相をあらわすイケムラの作品群、そして、静止した瞬間を捉えるマーク・マンダースの張り詰めた空間、それぞれをコレクション以外の作品も交え、特別に構成します。駒井哲郎らの版画作品、ロバート・ライマンやアグネス・マーティンなどの絵画作品とあわせて、ぜひご堪能ください。

*1 階は、前会期の展示を一部のみ展示替えて継続しています。

*開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

出品予定作家

朝倉摂、イケムラレイコ、漆原英子、恩地孝四郎、北代省三、河野通勢、小林ドンゲ、駒井哲郎、高木敏子、浜田知明、福島秀子、前本彰子、間所（芥川）紗織、山本高之、オラファー・エリアソン、ドナルド・ジャッド、マーク・マンダース、アグネス・マーティン、ロバート・ライマンほか

お問い合わせ

東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・稲葉・内堀・野川

TEL : 03-5245-1134 (直通) / FAX : 03-5245-1141

E-MAIL : mot-pr@mot-art.jp WEB : <https://www.mot-art-museum.jp>

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。



展覧会のみどころ

□ 1階の「竹林之七妍」では、7人の女性作家に焦点を当てて、新収蔵作品を中心に展示

河野通勢の作品《竹林之七妍》から着想を得て、これまで当館で紹介する機会の少なかった7人の女性作家をご紹介します。生誕100年を迎えた、高木敏子（1924-1987）のファイバー・ワークと間所（芥川）紗織（1924-1966）の染色による作品、漆原英子（1929-2002）のコラージュ的な手法による作品や小林ドンゲ（1926-2022）の銅版画、前本彰子（1957-）のインスタレーションはいずれも新収蔵作品として初めて展示をします。また、福島秀子（1927-1997）と没後10年となる朝倉摂（1922-2014）は既収蔵作品をまとめたかたちをご紹介します。

□ 1階の「小さな光」では、近年収蔵したオラファー・エリアソン作品や、コレクション展初展示となる山本高之の映像作品を、北代省三作品とともに展示

小企画として、未知なる存在や事象に対する探究心を原動力に、実験や遊び、ユーモアを交えながら、世界の見方を更新しようと試みる3人の作家—北代省三（1921-2001）、オラファー・エリアソン（1967-）、山本高之（1974-）—をご紹介します。

□ 開館30周年記念プレ企画として、イケムラレイコ、マーク・マンダースの作品を特別展示

2025年3月18日に迎える開館30周年を記念し、コレクション展示室3階では、新規に収蔵作家となったイケムラレイコ、および、2020年の個展の際には来日が叶わなかったマーク・マンダース、両者の特別展示を含む「開館30周年記念プレ企画 イケムラレイコ マーク・マンダース Rising Light / Frozen Moment」を開催します。いずれも作家のディレクションのもと、コレクション以外の作品も交えて広い展示空間を特別に構成します。なお、近年収蔵されたイケムラレイコの絵画とガラス彫刻はコレクション展で初展示となります。今回限りの必見のインスタレーションをお楽しみください。

展覧会概要

会期	2024年12月14日(土)–2025年3月30日(日)
休館日	月曜日（1月13日、2月24日は開館）、12月28日～1月1日、1月14日、2月25日
開館時間	10:00–18:00（展示室入場は閉館の30分前まで）
観覧料	一般500円 / 大学生・専門学校生400円 / 高校生・65歳以上250円 / 中学生以下無料 （または企画展のチケットでもご覧いただけます）
会場	東京都現代美術館 コレクション展示室
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館
企画担当	事業企画課 事業係 藤井亜紀、鎮西芳美、水田有子 / 企画係 楠本愛

同時期開催展

MOT アニュアル2024 こうふくのしま	12月14日(土)–2025年3月30日(日)
坂本龍一 音を視る 時を聴く	12月21日(土)–2025年3月30日(日)

お問い合わせ

東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・稲葉・内堀・野川
TEL: 03-5245-1134 (直通) / FAX: 03-5245-1141
E-MAIL: mot-pr@mot-art.jp WEB: <https://www.mot-art-museum.jp>

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

広報用画像として本リリースに掲載している画像をご用意しております。
ご希望の際はキャプションについている番号を、広報までお知らせください。

竹林之七妍



1. 高木敏子《綴織壁掛 貌》1963



2. 間所（芥川）紗織
《イザナギノミコトの国造り》1955



3. 福島秀子《作品》1958



4. 漆原英子《守護神たち》1979-1982



5. 小林ドンゲ《沼の花》1958



6. 朝倉撰 [不詳] n.d.



7. 前本彰子
《深海のアネモネ (Sea anemone) —EAT UP THE HEAVEN!》1992
撮影：末正真礼生 画像提供：コバヤシ画廊



8. 前本彰子《パンドラの箱のなかで》2002
Photo: Masaru Yanagiba

お問い合わせ

東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・稲葉・内堀・野川

TEL：03-5245-1134 (直通) / FAX：03-5245-1141

E-MAIL：mot-pr@mot-art.jp WEB：https://www.mot-art-museum.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

小さな光



9. 山本高之《Dark Energy: Tottori》2013



10. オラファー・エリアソン
《人間を超えたレゾネーター》2019
Photo: Kazuo Fukunaga © Olafur Eliasson

イケムラレイコ マーク・マンダース Rising Light/Frozen Moment



11. イケムラレイコ《Rising Light》2022



12. イケムラレイコ《Kitsune》2021 Photo: Ichiro Otani



13. マーク・マンダース《椅子の上の乾いた像》2011-15 Photo: Ichiro Otani

お問い合わせ

東京都現代美術館 事業企画課 企画係 広報班 工藤・稲葉・内堀・野川

TEL : 03-5245-1134 (直通) / FAX : 03-5245-1141

E-MAIL : mot-pr@mot-art.jp WEB : <https://www.mot-art-museum.jp>

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。